

## 環境学習コーディネート実施概要（Web掲載）

依頼No	12	事例No	7	依頼者	日進市立東小学校	実施場所	日進市立東小学校
実施対象	日進市立東小学校4年生（3クラス 計102名）						
実施日時	令和元年10月3日（木）10時30分～12時00分（1時間30分）						
テーマ	愛知県にいる生き物について						

### ●依頼内容

小学校4年生の総合的な学習の時間「もっと知りたい身近な環境」の講師を紹介してほしい。授業は生物多様性、地球温暖化、ESDや省エネルギーの分野で3回行いたい。

### ●講師：愛知県自然環境課 清水美登里氏

清水美登里氏は愛知県環境局自然環境課に所属し、これまで「県政お届け講座」の講師など環境に関わる各種講義を担当している。

### ●授業の内容

座学	<p>授業は、「愛知県にいる生き物について」と題するパワーポイントを使って行われた。授業は、地球上にはどれくらいの生き物がいるのか、また既にどれくらいの生き物がいなくなってしまったのか、それはなぜなのか（土地の開発や里山の管理不足、外来種、地球温暖化等が原因であること）、絶滅危惧種について、生き物がいなくなるとどうなるのか、生き物を守るために何をすべきかといった内容が進められ、講師からは途中途中で児童に質問が投げかけられた。また、授業の最後には児童から講師への質問の時間が設けられた。</p>	90分
----	--	-----

### ●授業の様子

授業は3クラス合同で行われました。子どもたちは、土地の開発や里山の管理不足、外来種や地球温暖化によって生き物が減っていること、そして生き物が少なくなると食べ物の減少や災害がおきやすくなるといった講師の話真剣に聞いていました。授業の途中途中で講師から投げかけられる質問に対して、担任の先生から指名を受けた児童ははきはきと元気よく答えていました。なかには、生き物についてとても詳しい児童もいました。講義が終わった後、子どもたちは今日の授業で学んだことや感想などを記録用の用紙に黙々と記入していました。

授業は3クラス合同で行われた



授業終了後、今日学んだことなどを記入していた

